

学校だより



たんぽぽ 9月号 その2

平成25年度 NO. 10

平成25年9月17日

広島市立舟入小学校

校長室より

花本 和彦

9月の第1週が雨続きだった関係で、水泳指導の期間を10日(火)まで延長し、どの学年も夏休み明けの泳力測定ができたようです。プールからは、泳いでいる友だちを声援する声が響いてきました。職員室に戻ってきた先生達からは、夏休みにしっかり練習して泳力を伸ばした子ども達に驚いたことが、話題になっていました。

15日(日)に400人が参加して「鮎のつかみどり」を行いました。天気予報では、台風の影響を受け午前中はずっと弱い雨が降り続くとのことでしたが、子ども達の願いが通じたのか、ほとんど雨も降らず曇り空の絶好の天気となりました。ここ数日夏に逆戻りしたような暑さがぶり返し、鮎には水温が高すぎないか心配しましたが、輸送タンクの20度の水温から放たれた鮎は、元気に泳ぎ回っていました。

水位を学年に合わせて調節する関係上、高学年・中学年・低学年と順番に行いました。児童は自分の獲物に狙いを付け、歓声を上げながら鮎を追い回していました。中には鮎が足にぶつかってくるのが怖くて、涙がでたりプールから飛び出したりする児童もいました。初めての経験に興奮しながら、「校長先生、初めて魚を捕まえたよ。」と、見せにくる児童もいました。プールサイドでは、嬉しそうに捕まえた鮎を掲げる我が子の写真を撮る保護者の方であふれていました。鮎のつかみ取りを経験した卒業生も手伝いに来てくれて、大プールに逃げ出した鮎を捕まえては、子どもたちの待つ小プールに放す手伝いをしてくれました。焼けた鮎をおいしそうに頬張る児童は、みんな骨だけを残してきれいに食べていました。

今年で4回目の鮎のつかみ取りですが、保健所に行って衛生面の指導を受け、より一層安全な食材を提供できるように、いろいろと改善を図りました。そして何より、協賛いただいた地域の会社や個人の皆様、そして当日お手伝いいただいた地域の皆様、おやじ・おかんの会の皆様の協力を忘れないでいただきたいです。鮎を焼いた竹串も、地域の方が舟入の子どもの喜ぶ顔を楽しみに、何ヶ月もかかって手作りで準備してくださったものです。

しかし今回、大きな課題が見えてきました。それは「おやじ・おかんの会」のメンバーに卒業生や6年生の保護者が増えてきたことです。このままでは、この行事もいつまで継続できるか分かりません。当日プールにお越しくださったお父さん・お母さんぜひ一緒に企画や準備する側に加わっていただけませんか。9月の土曜参観「ふれあい広場」では、おやじ・おかんの会で焼きそばを出店します。年に2度、子どもの笑顔を支える活動と一緒に取り組みましょう。また後日、ご案内させていただきます。

生活避難場所訓練

7月28日(日)あいにくの雨になりましたが、「地震と津波警報の発表」という想定で生活避難場所訓練が開催されました。小学校の体育館への参集訓練や防災に関するDVD鑑賞、各班の役割説明などが行われました。グラウンドで予定されていた体験コーナーは残念ながら中止になりましたが、いざという時のための心構えを新たにしました。



平和の集い

8月6日(火)に各学級でテレビを通じて平和式典の様子を視聴し、8時15分原爆投下の時刻に黙祷をしてから、全校児童が体育館に集まり平和の集いを行いました。学年の発表や児童会の代表による「原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑」慰霊祭の報告、そして校長先生の話を行いました。暑い体育館の中でしたが、態度よく話を聞いていました。



中区PTA連合会親善バレーボール大会

9月1日(日)に中区スポーツセンターで中区PTA連合会親善バレーボール大会が行われました。

接戦を演じつつ、2連勝で決勝トーナメントに進出し、準決勝で吉島東小にストレート勝ち。決勝戦で吉島中学校に2-1で快勝し、見事に優勝カップを手に入れました。監督、コーチ、そして選手の皆様、応援に来られたPTAの皆様、おめでとうございます。そして、お疲れ様でした。



鮎のつかみどり

9月15日(日)に行われた鮎のつかみどりの様子です。

雨が心配されましたが、予定通り開催され子どもたちの歓声が響きました。地域の皆様、「おやじ・おかんの会」の皆様、ご協力ありがとうございました。



土曜参観日・ふれあい広場について

○バザー当日、現金はやむを得ない場合を除いて、朝の登校時には持たせず、バザー開始前に手渡すなどしてください。ご協力をお願いします。